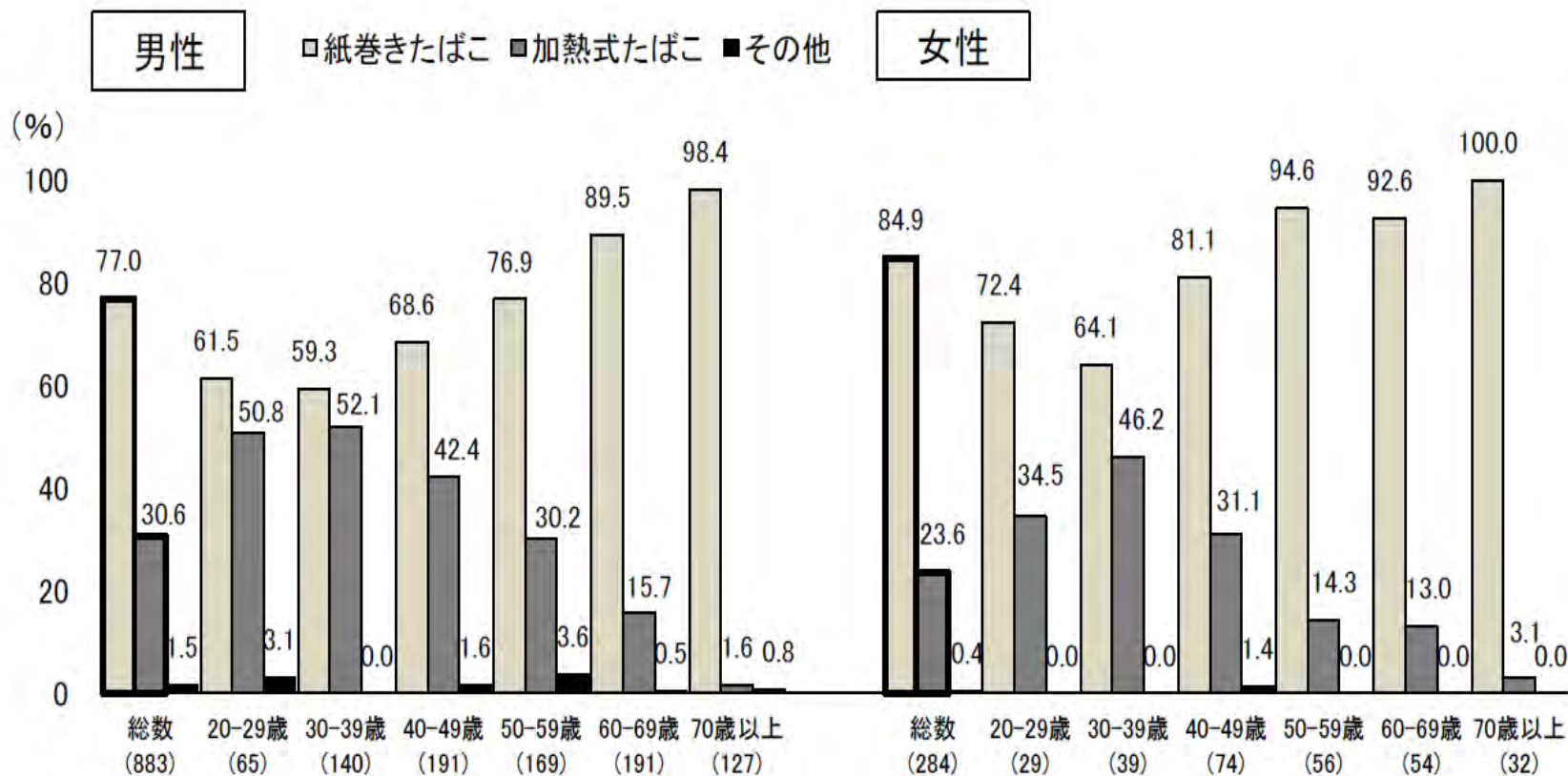


【参考】加熱式たばこの安全性について

- 高齢者の生活実態に対応した住宅防火対策のあり方に関する検討部会（第2回）

<参考> 現在習慣的に喫煙している者が使用しているたばこ製品の種類

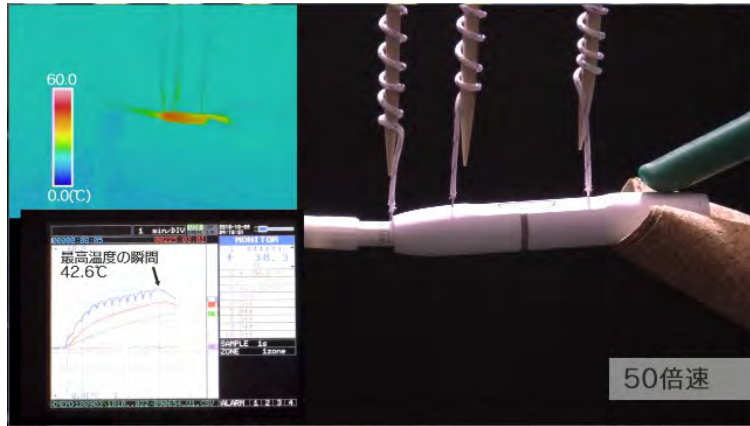


※「現在習慣的に喫煙している者」とは、たばこを「毎日吸っている」又は「時々吸う日がある」と回答した者。
 ※たばこ製品は、「紙巻きたばこ」、「加熱式たばこ」、「その他」の中から、複数回答可とした。

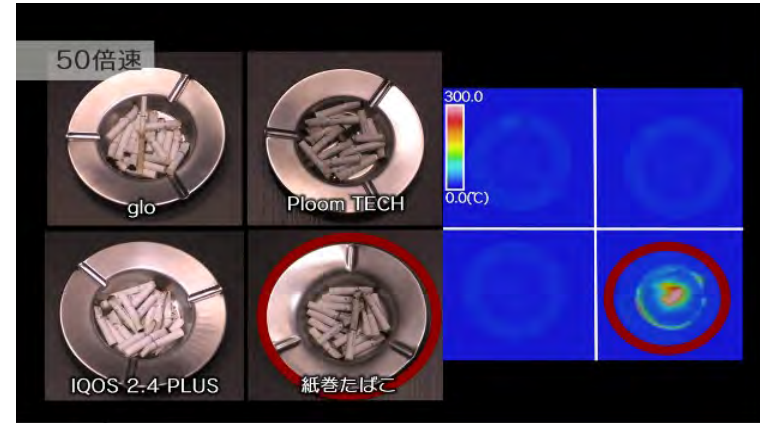
厚生労働省平成30年「国民健康・栄養調査」の結果より

男女ともに年齢が高くなるにつれ、加熱式たばこの使用割合は減少しており、70歳以上になると男女ともにほとんどの喫煙者が紙巻きたばこを使用している。

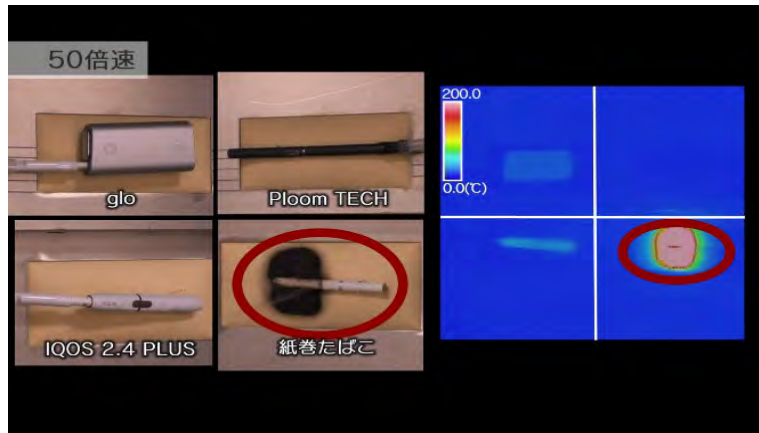
<参考>加熱式たばこと紙巻きたばこの比較実験



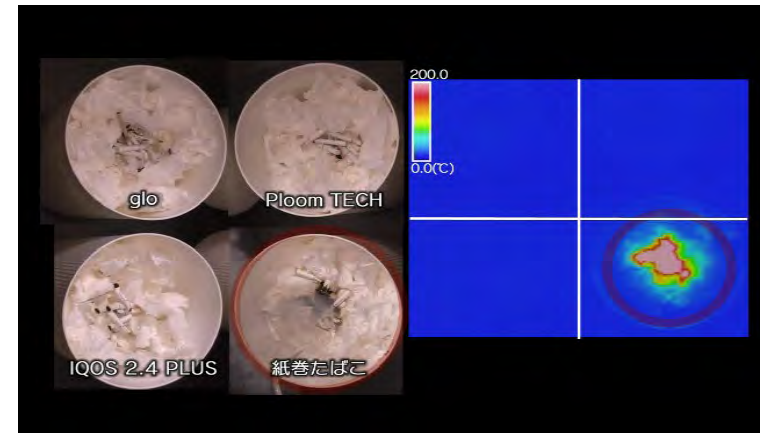
熱電対・サーモ測定 (アイコス2.4 Plus)



灰皿の着火危険



布団の着火危険比較実験



紙ゴミ等の着火危険比較実験

- 平成30年度の消防庁の検討において、たばこ火災の実態分析結果に基づき、たばこ火災が発生しやすい条件を再現し、紙巻たばこと加熱式たばこ3製品の火災発生危険を比較する実験を行ったところ、加熱式たばこ3製品はいずれもたばこ火災を発生させないことがわかった。
- 令和2年9月23日に加熱式たばこの電気安全性規格 (JIS C 9335-2-120)が制定されたことから、今後、JIS規格に適合した安全性の高い加熱式たばこの普及が進むことによって、たばこ火災の低減に一定の効果が見込まれる。